

保護者の皆様へ

燕市のGIGAスクール構想



燕市が採用している
1人1台端末
『クロームブック』

燕市の子どもに育てたい力

INPUT
読み取る



THINK
考える



OUTPUT
伝える



これまでの
教育実践

+

読解力育成の視点
授業改善

×

ICTの活用

=

主体的・対話的で深い学び
個別最適な学び・協働的な学び



子どもたちに、情報を正しく読み取り（INPUT）、考え（THINK）、相手に伝える（OUTPUT）力を育むために、1人1台端末『クロームブック』を活用した学習活動を実施します。

子どもたちが端末を正しく有効に使うことができるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

燕市教育委員会

令和6年4月

燕市版 GIGAスクール構想

GIGAスクール構想とは 「Global and Innovation Gateway for All」（全ての児童・生徒のためのグローバルで革新的な入口）」

全国一斉に整備

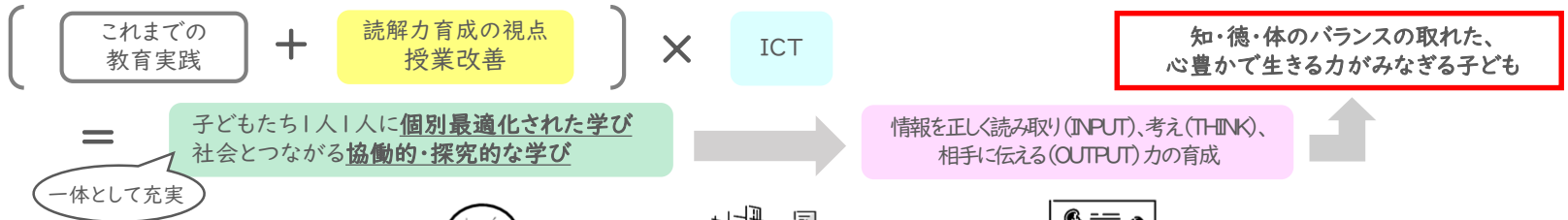
子どもたちに1人1台のタブレット端末
学校における高速大容量のネット環境

令和時代の「学び」のスタンダード

タブレット端末を、鉛筆やノートと並ぶ
「新しい文房具」として日常的に活用



燕市のGIGAスクール構想



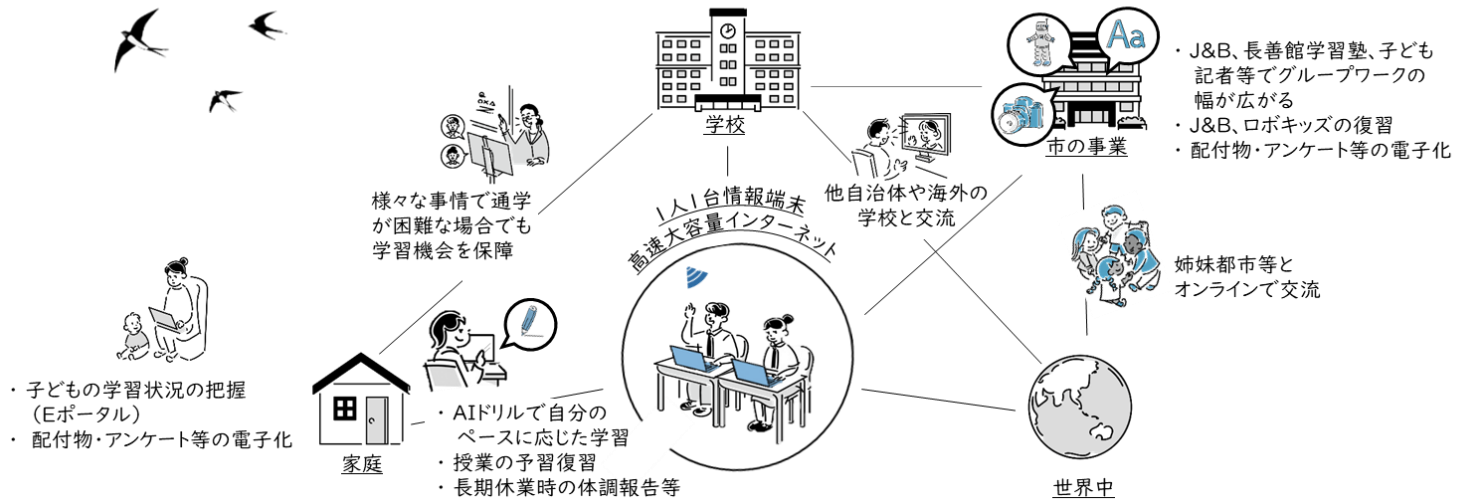
INPUT
情報に効率的にアクセス
⇒ 様々な書物やデータに触れる
機会の向上



THINK
・ 様々なソースを比較し分析
・ 共同編集でリアルタイムで
クラスメイトと考えを共有



OUTPUT
・ スライドやドキュメントで思考の
整理・アウトプット
・ 電子黒板等を用いて1人1人の
考えをみえる化

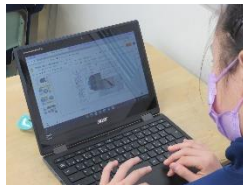


1人1台端末の活用により、学びの可能性が広がります

学校での学びが変わる

1 個別学習の充実

クラウド上に授業の振り返りなどの学習記録を蓄積できます。また、児童生徒一人一人が学習内容の理解度に応じた課題に取り組むことができます。



2 協働学習の充実

学習支援アプリ等を活用して、お互いの考えを伝え合うことがスムーズに行えます。自己表現が得意な子もそうでない子も、意見を交流させて学習を進めることができます。



3 探究的な学習の推進

児童生徒が興味や関心のある学習内容について、インターネットを活用して調べ学習を行ったり、画像や動画を通じて具体的にイメージしたり、学びを深めることができます。



4 デジタル教科書の活用

一部の教科でデジタル教科書の活用が行われています。デジタル教科書に掲載された画像、映像、音声等の資料を活用し、理解を深めることができます。



5 授業改善を推進

デジタル教材を活用し、課題の提示方法や追究方法を工夫しより分かりやすい授業づくりに取り組みます。児童生徒の意見の交流にも活用し、考えを深めます。



家庭での学びが変わる

6 学習用コンテンツの活用

ドリル教材アプリを活用して、家庭学習に取り組むことができます。また、新潟県等が公開している学習支援動画を活用し、予習や復習に取り組むことができます。



7 家庭学習の課題の提示や提出

Google Classroomや学習支援ツールを活用して課題を受け取ったり、提出したりすることが可能になります。学校を欠席していても課題に取り組み、提出することができます。



8 登校できない児童生徒への対応

臨時休業等、様々な理由で登校ができない児童生徒にオンラインで授業を行うことができます。授業の進捗を確認しながら、家庭で学習に取り組むことができます。



家庭と学校のつながり方が変わる

9 配付物の電子化

学校からの連絡や配付物を電子データで受け取ることが可能になります。出席確認やアンケートへの回答をクロームブックを通じて行うことができます。



10 会議などをオンラインで開催

集合対面式で実施できない状況においても、オンラインで会議や面談が実施できるようになります。



クロームブックの使用について Q&A

Q:クロームブックは、進級しても同じものを使用しますか？

A:クロームブックは、1人1台専用のもを貸し出し、卒業まで同じものを使います。



Q:クロームブックには、パスワードを設定しますか？

A:それぞれにアカウントとパスワードが発行されます。

Q:授業の全てにおいて、クロームブックを使用しますか？

A:授業の中で、クロームブックを使うことが適している場面で使用します。これまでどおり、教科書を読んだり、文字を書いたりする学習も行います。

Q:持ち帰り学習をするメリットは、何ですか？

A:学校だけでなく、家庭においても学習に使用することで学習用具の一つとして操作に習熟し、学習の基盤となる「情報活用能力」を育むことができます。また、臨時休業等の際に、学びの保障の一つの手段になると考えています。



Q:クロームブックを持ち帰っても、使用できるか心配です。

A:学校で基本的な使い方を指導し、オンライン授業の練習をした上で家庭に持ち帰るようにします。使用方法がわからない、接続ができないなどの場合は、学校または教育委員会にお問い合わせください。



Q:家庭にWi-Fi環境がない場合はどうしたらよいですか？

A:教育委員会でモバイルルーターを無償で貸し出しています。各ご家庭で準備していただいたSIMカードを装着するとクロームブックをインターネットに接続することができます。契約や通信費用は、ご家庭の負担となります。モバイルルーターの貸し出しを希望される方は、学校に申し出てください。

Q:クロームブックの持ち帰りにより、荷物が重くなりそう。

A:家庭学習を計画し、使用しない教科書等の学習用具を学校に置いて帰る「置き勉」を推奨しています。一部教科では、デジタル教科書も使用しています。



Q:クロームブックを破損・紛失してしまったらどうすればよいですか？

A:クロームブックを破損・紛失した場合、すぐに学校に報告してください。修理の間、予備の機器を使用させていただきます。紛失や故意の破損の場合は弁償をお願いすることがあります。付属のタッチペンを破損・紛失した場合、学校にある予備のペンを一時的に貸し出します。そして、必要に応じて、ご家庭で代替りのペンを用意していただきます。

Q:有害サイトへのアクセス制限はされていますか？

A:有害サイトに接続がされないフィルタリング機能が設定されています。学校で使用する際も、家庭で使用する際も、フィルタリングは有効です。

Q:SNSやメールを利用することはできますか？

A:SNSへの接続、メール、チャットの使用はできない設定となっています。また、許可されていないアプリをインストールすることはできません。

保護者の皆さんへ

クロームブックは学校でも家庭でもお子さんの学びを深めるために大変有効なツールとなりますが、使い方を間違えると、人を傷つけることにつながります。使い方についてご家庭で話題にいただき、ご指導くださいますようお願いいたします。

